

大分県医療・福祉労働組合連合会（大分県医労連）Tel：0977-75-7556 平成 31 年 3 月 13 日発行
E-mail： irouren3984@bloom.ocn.ne.jp ホームページ： <http://oita-irouren.net/>

大分県医労連恒例 3月3日 第12回女性集会開催！！

2019年3月3日（日）大分県医労連女性集会が、41名の参加で別府亀の井ホテルで開催されました。3月3日のひな祭りに実施すると決めて実施し続け今年で12回目。ちょうど卒業式と重なったりと人員集めに困難なこともありましたが、10年以上も継続されてきたと言うことが大きな力となっていると

思います。今年は、医労連本部から森田しのぶ中央執行委員長（左上）に参加していただき『ダブルケア！～仕事と家庭の両立～』と題して講演をしていただきました。

女性協のモットーサンバ&3Cサンバ①しゃべれば②食べれば③学び・行動すれば3C ①諸権利を知って ②知らせて ③職場を変える を実践していくためにも、2017年度の看護職員実態調査結果報告をもとに、今の看護職員の傾向を知り、「夜勤改善・大幅増員、心身ともに健康で働き続けられる規制の実現」に向けて職場の中から声を上げていこうと力強く話していただきました。医労連共済の鹿野書記（右）からのお話もしっかり聞き、さすが医労連と思える仲間づくりのためにも、知って知らせて職場を変えると意思統一できました。

昼からは、5つのグループに分かれてグループ討議。「子育てに関する権利も昔からあったものではなく先輩たちが必死にたたかい運動を続けて制度化してきたもの。後輩たちにつなげていくためにもこの制度をしっかりと活用し伝えていくことが大切。」などと多くの意見交流ができました。

さて、今回のお楽しみは“ズンバ”アップテンポのラテンミュージックに合わせて若者もそうでないものも踊る！踊る！！「手足バラバラ」「全然ついていけない」息も絶え絶えに、でも約1時間、踊る！踊る！！汗びっしょりになり・・・。「スカッとした」「楽しかった」とみんなの笑顔がはじけていました。

来年のお雛様にもみんなが集えることを願って楽しい女性集会は幕を閉じました。



労働組合とはなんぞや？

「組合の役員になりました。私は何をすればいいでしょうか？」と、戸惑っている人はたくさんいると思います。初めての組合役員、なりたくなっただけではないけれど、でも役員というからには何かしないといけないのではな

いか。だけどテキストがあるわけでもなく、いつも指導者がいるわけでもなく、今の時期は春闘だからと言われても、「だから何をどうすればいいの？」と結局元に戻ってしまう。役員になったからと言って、一人で組合を背負うことはありません。便宜上役員になっただけ。今までと何も変わらないのです。わからないことはわかっていている人に聞けばいいし、むつかしいことは本部に聞くのもよし、本を見るのもよし。ただ、一番大事なものは、『一人で勝手に動かない。一人で判断しない。放り出さない。』

仲間と話をしてみんなで考え、悩み、まとめしていくことが大切です。役員というのはその真ん中でみんなが分かるように話を届けていくことができる人です。アンテナを張って、周りを見渡す力をつけてください。それを仲間伝えることも大事な役員の仕事です。そのためには、医療の職場で一番使われる言葉「コミュニケーション」が必要です。

まず一つ進んでみませんか。あなたから「元気？」という声掛けを。

By Mima